

令和7年度 大田区立矢口中学校 学校経営計画

校長 鈴木 孝洋

1 矢口中学校の教育目標

人間尊重の精神を教育の基調におき、人間性豊かで、民主的な社会を担うことのできる人間を育成するために、次の目標を定める。

気づき、考え、行動できる生徒を育てる。

○ 学ぶ人 ○ 思いやる人 ○ 鍛える人 ○ はばたく人

2 目指す学校像

「笑顔があふれ、毎日通いたいと思える学校」

○信頼される学校

○通いたい、通わせたい、勤務したい学校

○生徒、保護者、地域が誇りとする学校

3 目指す生徒像

○学ぶ人 ・ ・ ・ ・ 目的意識をもち、知識習得や技能習得に取り組める生徒

○思いやる人 ・ ・ 自他を大切にし、互いに尊重し、高め合おうとする生徒

○鍛える人 ・ ・ ・ 命を大切にし、心身共に健康であろうとする生徒

○はばたく人 ・ ・ 正しい判断ができ、夢をもって、主体的に行動できる生徒

矢口中学校では、生徒に寄り添った指導を大切にします

○基礎的な社会性を身に付けさせる中で、生徒自身の良いところを伸ばす指導を行う。

○生徒自身が課題を克服していけるように、適切な助言や励ましの声をかける。

○生徒の自主的な活動の場を創出し、達成感や自己肯定感を持てるようにする。

○個に応じた指導の実現に向け、生徒理解を深め、授業改善に取り組む。

4 学校経営方針

1) 確かな学力の定着

○主体的・対話的で深い学びを推進し、基礎・基本の定着と学ぶ意欲を醸成する。

○ＩＣＴ機器を活用した授業展開を行い、一人一台のタブレットを活用して分かる授業を実践する。

- 補習教室（放課後、長期休業中）を実施し、学習支援を行う。
- 朝読書を実施し、言語の活用力や表現力を育むとともに、学ぶ環境を整える。
- 家庭学習の習慣化により、主体的に学ぶ姿勢を身に付させる。
- 学力調査の分析と共有を行い、授業改善を推進する。

2) 豊かな心の醸成

- 道徳授業の充実を図る。
- 矢中祭（運動部門、発表部門、展示部門）、宿泊行事（移動教室、修学旅行）、校外学習（社会科見学）を通して、協力と団結を実感させる。
- 委員会、係活動を通して、自主性や積極性を育成する。
- ボランティア活動や福祉体験を通して思いやりの心を育むとともに、地域や様々な人とのつながりを大切にする心を育てる。
- 特別委員会を設置し、いじめ防止対策、不登校対策の充実と未然防止を推進する。
- 教育相談やスクールカウンセラー等との連携を充実させる。

3) 健康な体の育成

- 保健体育の授業により、体力、運動能力の向上と健康教育を推進する。
- 部活動に参加することによって体力向上を図る。
- 「早寝、早起き、朝ご飯」を推進する。
- 食育を家庭科の授業や、学級担任、養護教諭、栄養士と共に推進する。

4) キャリア教育の推進

- 3年間を見通した進路指導計画の確立と実践を行う。
- 職業調べ、職場体験を通して生き方について考えさせる。
- 事業所の方や上級学校の先生による講話や体験授業の実施。

5) 地域・家庭との連携

- 学年だよりを毎週発行し、保護者等の返信欄を通じて、意見を収集し、頼りに掲載することで学校と保護者の意識の共有を図る。
- PTA活動、地域行事に対する教職員、生徒の関わりを深める。
- スクールサポート矢中との連携をすすめる。
- 学校生活アンケートを実施し、教育活動の推進に活用する。
- コミュニティスクールの導入に向けての準備を行う。

矢口中学校 3年間のスローガン

1年生「見る学年」、2年生「見られる学年」、3年生「見せる学年」とし、各学年での目的意識をもたせ、「魅せる学年」となって卒業する